

# 法教育 実践報告

豊島区立池袋中学校  
関根 憲一

## 法教育との出会い

- 生徒と向き合う中で……

**規範意識の低下 人間関係の希薄さ  
を実感**

- 生徒によりよい学校生活を送らせるためには……

何か有効な指導法や教材はないか→都が実施  
した研修会に参加

「法教育」との出会い

## 実際に自分ができるのか

- 自分自身の法律に関する専門的知識の不足  
もし、この授業や自分の指導法が  
間違った方向だったとしたら・・・



法教育への恐怖心や尻込み

## 生徒の実態からの決意

- 自分の受け持ち学年の生徒の実態

規範意識の少なさ  
人間関係の希薄さ  
自己肯定感の少なさ  
社会性の絶対的な不足

何か「手をうたなければ、学級・学年・学校の危機的状況を招く恐れ

## 外部の方々との協力

- 法教育推進協議会の教材
- 東京弁護士会のご協力による「出張授業」の実施  
※土曜公開授業の積極的活用  
→保護者への働きかけにつながる



中学3年間のそれぞれの発達段階に応じた大ざっぱな「積み重ね」学習の意識

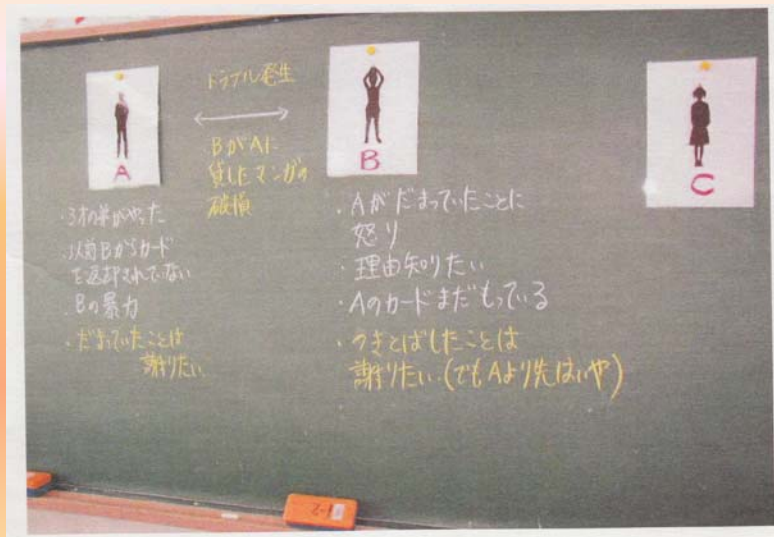
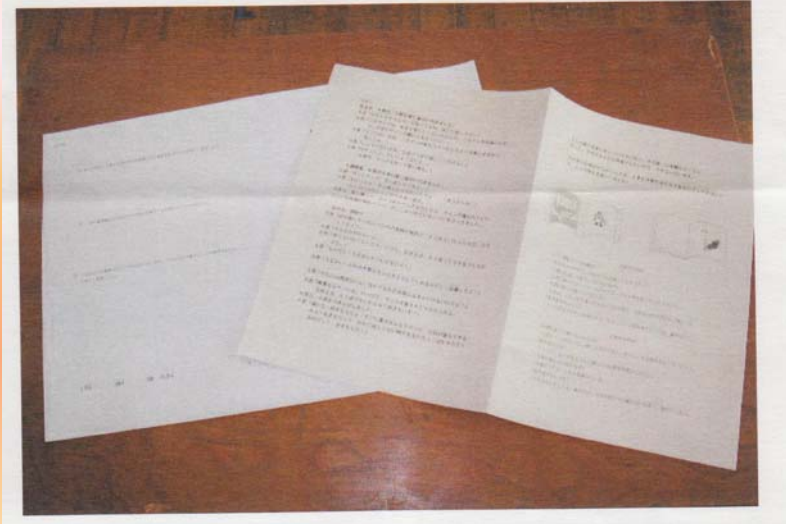
## 1年時の法教育

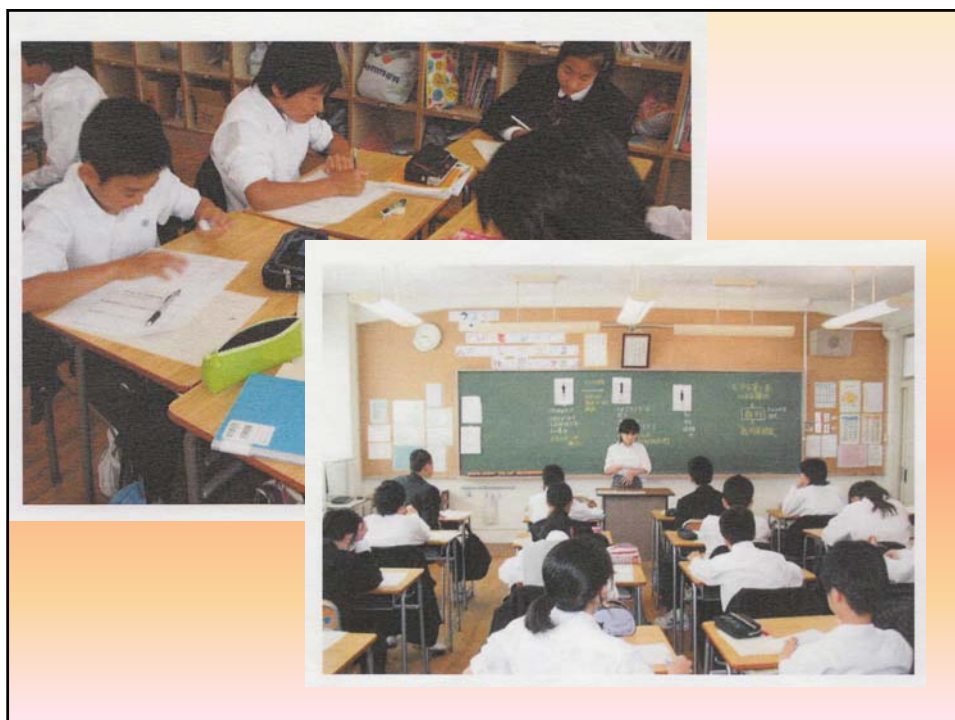
- 身近な題材を使い、「トラブルの解決策」を班で話し合う。(道徳の授業→学年教員の協力)



### 教員としての視点

トラブルを未然に防止し、お互いに納得できる解決策を話し合っ出て出し、けんかなどを起こさないようにしてほしい。





## 2年時の法教育

- 東京弁護士会のご協力をいただき、「ルール作り」の授業を行う。(道徳地区公開授業)



教員としての視点 中だるみの学年の中で、ルールを大切に、規範意識を高め、お互いを尊重した雰囲気を作って欲しい。



## 生徒の感想

○今日はルールについて勉強して、本当に大変なことがわかりました。私は「店長」だったけど、一人だけの意見ではなくて、色々な人の意見なども聞けて、楽しく授業を受けることができました。今の自分にたえたり出来たし、皆で過ごすにはルールを守らないといけないんだなと改めて思いました。今日の授業をふまえて、ルールをしっかり守って、良い環境で暮らしたいと思いました。また、機会があればこういう授業をしたいです。(1組女子)

●本当に大変で、頭が疲れました。国会にいる政治家の人はこれより大変な議論をしているのだなと感じました。この授業は社会人になったときに、こういうことをやるみたいなので、とてもいい経験になりました。(2組男子)

●ルールを作るというのは、いろいろな人の立場やお金や平等さを考えて作らなきゃいけないので、大変だということがよくわかりました。(2組男子)

○班の話し合いで途中問題も起こりましたが、ちゃんとルールができて良かったです。他の班の意見も、自分は思いつかなくて、それぞれの意見がたくさんあっておもしろかったです。(2組女子)

●一人の人が我慢をするのではなく、みんなが少しずつ我慢をすればかなり良くなるので、このことを忘れずにいきたいと思えます。(3組男子)

## 3年時の法教育

- 3年間の法教育の集大成として・・・

東京弁護士会のご協力より、「裁判員制度」についての授業を行う。  
(社会科・公民的分野)



教員としての視点 中学校で身につけたコミュニケーション能力や教科で身につけた思考力・判断力・知識等をフル動員して、適切な話し合いを進めて判決を導き出して欲しい。



## 3年間の法教育への生徒の声

- これまでの法教育を通じて、法や制度について興味がわいた。
- 約束や契約についてより深く調べてみたい。
- 実際に自分の家でも相続の問題が発生した。もっと中学生向けの相続の資料がほしい。
- 人の意見と自分の意見をぶつけあって、解決策を考えることが重要だと感じた。



## 今後の課題と展望

- 自身の法的知識の向上
  - ・より全体の教科で「法教育」を実施  
→校内の「全体計画」の必要性
  - ・積み重ねる学習を意識した教材づくり  
→より一層の法曹関係者の方々との  
関係づくりの必要性
  - ・生徒たちが「楽しい」「やってためになった」と感じる授業を作る！